

紅葉散策のすすめ

都内にも、紅葉の見どころが沢山あります。
秋の一日、都立公園・庭園に足をのばしてみませんか。

都立公園

「紅葉めぐりスタンプラリー」

期間：平成23年10月29日(土)～12月11日(日)

紅葉狩りがお楽しみいただける時期に合わせ、都立9庭園では「紅葉めぐりスタンプラリー」を開催いたします。
浜離宮恩賜庭園・旧芝離宮恩賜庭園・小石川後楽園・六義園・向島百花園・清澄庭園・旧古河庭園・旧岩崎邸庭園・殿ヶ谷戸庭園のうち5庭園分のスタンプを集めた方に素敵なプレゼントを差し上げます。

一 浜離宮恩賜庭園 有料

はまりきゅうおんしていえん

見どころは、潮入りの池のほとりに佇む、徳川幕府八代将軍・吉宗公ゆかりのトウカエデ。例年12月初旬頃になると見事に色づき、水面に映える紅葉をお楽しみいただけます。

都営大江戸線「築地市場」・「汐留」、JR・東京メトロ・都営浅草線「新橋」、ゆりかもめ「汐留」
03-3541-0200



二 旧芝離宮恩賜庭園 有料

きゅうしばりきゅうおんしていえん

東京に残る最も古い大名庭園の一つ。中国趣味の池泉周辺と、勇壮な石組みが、変化に富んだ風景をつくりだしています。浜松町駅、大門駅からすぐという、訪れやすいロケーションも魅力。

JR「浜松町」、都営浅草線・都営大江戸線「大門」
03-3434-4029



三 小石川後楽園 有料

こいしかわこうらくえん

徳川光圀(水戸黄門)ゆかりの江戸期を代表する回遊式庭園で、大泉水を中心に湖、川、山、田園の風景が巧みに配されています。大堰川や紅葉林の紅葉が華やかで見所です。景観ごとに違った趣の紅葉を楽しむのもお勧めです。

JR・東京メトロ・都営大江戸線「飯田橋」、東京メトロ「後楽園」
03-3811-3015



九 殿ヶ谷戸庭園 有料

どのがやどていえん

武蔵野の自然の地形を巧みに利用した和洋折衷の庭園です。豊かに茂った樹林の紅葉は見事です。詳細は裏面参照。



都内の紅葉情報をお知らせします。

東京都では、都立公園等42箇所の紅葉情報を下記のとおり提供しています。お出かけの際には、是非ご利用下さい。

■ ホームページ 平成23年12月16日(金)まで
(公財)東京都公園協会 <http://www.tokyo-park.or.jp>
東京都建設局 <http://www.kensetsu.metro.tokyo.jp>

■ 電話による対応
建設局公園緑地部計画課
(土・日・祝日をのぞく午前9時～午後5時)
TEL:03-5320-5372

八 旧古河庭園 有料

きゅうふるかわていえん

3段テラスの洋風庭園と、池を中心とした回遊式の日本庭園が同時に楽しめる庭園。洋館のテラス周辺や日本庭園の池の周りが紅葉の見どころです。

JR「上中里」「駒込」、東京メトロ「西ヶ原」
03-3910-0394



七 清澄庭園 有料

きよすみていえん

全国の庭石が随所に配置され、独特の景観を持つ庭園。11月12日(土)～20日(日)は21時まで(入園は20時30分まで)開園し、「清澄庭園ライトアップ～深川あかりつむぎ～」を行います。

東京メトロ・都営大江戸線「清澄白河」
03-3641-5892



六 向島百花園 有料

むこうじまひゃっかえん

江戸時代、「花園」として文人墨客が集い、下町の風情を今に伝える庭園。和の風情と江戸を感じながら、園内を散策してみたいかがでしょうか。

東武伊勢崎線「東向島」、京成押上線「京成曳船」
03-3611-8705



四 六義園 有料

りくぎえん

「和歌」を基調とした庭造りが特徴の庭園。都内でも有数の紅葉の名所。11月18日(金)～12月4日(日)は21時まで(入園は20時30分まで)開園し、「紅葉と大名庭園のライトアップ」を行います。

JR・東京メトロ「駒込」、都営三田線「千石」
03-3941-2222



五 旧岩崎邸庭園 有料

きゅういわさきていえん

秀麗なデザインの洋館と、ゆるやかな広がりを持つ和洋併置式の芝庭が特徴の庭園。樹齢400年と言われる大イチョウが見事な黄葉を見せてくれます。

東京メトロ「湯島」・「上野広小路」、都営大江戸線「上野御徒町」、JR「御徒町」
03-3823-8340



都立公園・植物園

都立公園・植物園のおすすめスポットもご紹介します。

神代植物公園 有料

カエデの品種の多さは植物園ならではの、かえて園には45品種130本が植えられているほか、山野草園でも見られます。日本各地、古くから続くカエデの園芸品種をお楽しみください。

京王線「つつじヶ丘」・「調布」からバス「神代植物公園前」
042-483-2300



桜ヶ丘公園

丘陵と谷戸が織り成す里山の風景の中に、約100本のイロハカエデがあります。旧多摩聖蹟記念館前の園路は、特に彩り豊かな景色が広がります。

京王線「聖蹟桜ヶ丘」からバス「記念館前」
042-375-1240



狭山公園

○トウカエデの林の黄葉
トウカエデの林の黄葉は、例年11月中旬～12月上旬ごろが見頃です。たくさんのお客さんが落ちたトウカエデの林の中は、まるで落葉の絨毯のようです。
○風の広場のススキ
9月下旬から11月中旬にかけてススキが見頃を迎えます。パークセンター前の「風の広場」など、いくつか点在していますので、園内をぐるりと散策してみてください。

西武多摩湖線「西武遊園地駅」下車 徒歩5分
042-393-0154



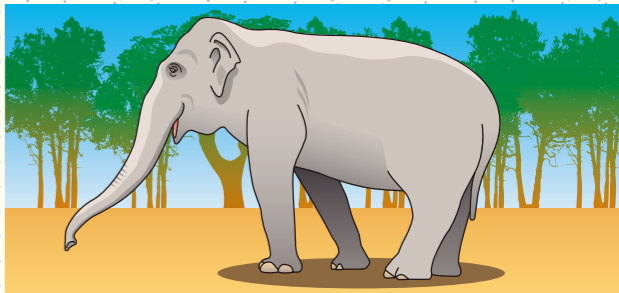
和田堀公園

和田堀池周辺は多数の樹木が紅葉し見事に池と溶け合っています。珍しいカワセミの姿も！大イチョウで有名な大宮八幡宮も隣接しています。赤や黄色の色彩をお楽しみ下さい。

京王井の頭線「西永福」、JR「高円寺」からバス「都立和田堀公園」
03-3313-4247



イキモノのイキな話 66



「大記録に臨むアジア象はな子」

井の頭自然文化園 室伏 三喜男

戦後の混乱もまだ収まらぬ中「象は牛より大きいの？妹がこんなことをいいます。妹に本物の象を見せてあげたい」小学校3年生の男の子からのこんな手紙がきっかけで昭和24年、戦後初めて日本に来たゾウがタイから送られたアジア象のはな子です。来たときは2歳半、牛より小さい赤ちゃんゾウでした。

そのはな子は今でも井の頭自然文化園で静かに暮らしています。象は上下に一本ずつ4本の歯がありません。その歯は一生のうちに6度生え変わるといわれていますが高齢のはな子はすでに三本の歯を失い残った歯は一本だけとなってしまいました。

象はその巨体を維持するために大量の食事を採らなければなりません。はな子には1日に2.4kgの青草、バナナ1.8kg、サツマイモ、ニンジン、リンゴをそれぞれ5kg、他に干し草を細かくし、それをサイコロ状に固めたヘイクューブを2.5kg与えています。しかしこれらをそのまま与えても噛み砕く事が出来ない為コンテナ6個分の青草はすべて10cm程に切ったものを、ダンボール箱3箱分のバナナは全て一本一本皮をむいて与えます。サツマイモ、リンゴ、ニンジンは細かく砕き一部はヘイクューブと混ぜて特製のはな子団子にして与えています。猛暑の夏はやはりはな子も耐えがたいようでもうしても食欲が落ちます。例年水分補給にスイカをもらいおしいし、そう食べるはな子の様子は来園者にも人気なのですが、生のナスを与えたところ意外にも躊躇なく食べました。ナスは体を冷やすと昔から言われます。そこでこの夏は毎日3kgのナスがメニューに加えられました。

今年の記録的な猛暑を乗り越えたのはな子、来年は2008年に亡くなった神戸市王子動物園のアジア象「諏訪子」の国内最長記録である65歳に並びます。



【はな子】

～動物園の“かお”～

多摩動物公園 チーター

「ナデシコ(メス)・キリ(オス)・アイリス(メス)・ステラ(メス)」

「チーターの赤ちゃん4頭が、元気に成長中。うち1頭はキングチーターです！かわいい赤ちゃんたちに会いに来て下さい。」



平成23年6月11日生まれ